

施設名	北部生涯学習センター		
主管部課等名	教育部生涯学習課		

(1)概要

指定管理者	一般社団法人刈谷にぎわいオフィス		
指定期間	R6.4.1～R10.3.31	指定方法	任意
管理業務の内容	施設の維持管理業務、施設の運営業務(利用受付、使用料収納等)		

利用状況	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
利用人数(人)	64,846				
稼働率(%)	34.6				

(2)日常的モニタリング

実施方法		指導・助言(随時)、利用実績等の確認(12回)、現地調査(随時)、指定管理者へのヒアリング(7月)
実施結果	主な問題点	302研修室のファンコイルユニットの冷却水管が劣化により破損し、使用不可となった。 修繕の施工には、下階の201研修室の天井の一部をはがす必要があり、施設の供用に大きな影響が生じる。
	上記に対する指定管理者への指導・助言内容	既設のGHPエアコンは問題なく稼働している点、使用不可のファンコイルユニットは3台中1台のみである点を踏まえ、早期の修繕の施工を見送ることとした。夏場に適切な室温の保持が困難となった場合は、スポットクーラーの追加設置等の対応を行うよう助言した。
その他特記事項		老朽化した施設の日常点検・調査、計画的な改修、備品更新等を行っていく。

(3)セルフモニタリング

実施方法		①アンケート ②要望・苦情対応
実施結果①	アンケート概要	実施時期:令和7年2月 実施方法:利用者へアンケート用紙を配布・回収 【施設利用】 調査結果:満足92%、やや満足4%、普通4%、やや不満0%、不満0% 回収率:93.5%(230件) 【職員対応】 調査結果:満足94%、やや満足:2%、普通:4%、やや不満:0%、不満:0% 回収率:93.1%(229件)
	上記への対応状況	日頃からの謝意をはじめ、また利用したいとの言葉をいただくなど、施設利用、職員対応とも高い満足度に繋がっているのは、偏に行き届いた使用前点検や備品準備並びに使用后清掃の賜物であり、引き続き清潔で安全・安心な施設として適切に管理するとともに、利用者目線に立ち、親切で丁寧な対応を心掛ける。
実施結果②	利用者からの反応	・体育室カーテンのマジックテープが外れていたり、古くて引っ付きにくい箇所が多くなっている。 ・バドミントンネットの結び目が多くて使いにくい。ソフトバレーのネットの下紐が輪になっていたり、紐に結び目がある。支柱に目盛りがなく高さ調整がし難く、支柱のネットを掛ける部分が止まりにくい。
	上記への対応状況	・確認して問題のある箇所を修繕する。 ・他利用者の実情を把握するとともに、申出者に実地での説明を受けるなど実態を把握した上で対応する。
その他特記事項		・施設、設備、備品の老朽化は著しく、引き続き計画的に補修・修繕及び更新を図る必要がある。 ・職員も競技用ネットや支柱に関する基本的な使用方法等を知る機会が求められる。

(4)評価・今後の対応

単年度 の 評価	法令等の遵守	B	管理経費等の収支状況(経理状況や経費節減の取組み)	B
	適正なサービスの提供(苦情対応・アンケートなど)	A	自主事業の実施状況	—
	運営状況(協定書、事業計画書等に沿って運営されているか)	B	施設の維持管理状況	B
	施設の利用状況(稼動状況、事業計画の達成度など)	B	保守管理の実施状況	B
	評価の理由・今後の対応	利用者満足度が高く、高齢者雇用の推進等による経費削減を行っており、適切な管理運営ができています。引き続き、良好な管理運営の維持に努める。		

(4)評価・今後の対応の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「—」とする。

- A:協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。
- B:概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。
- C:協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。
- :実施していない。